

遊んでも 暮らしても 働いても 面白い

異和共生のまちをめざして



問合せ 企画総務課 4階45番 ☎06-6715-9990 📠06-6717-1160



- ☑️ 地域経済活性化**
地域資源を活用し、公民地域連携によるリノベーションによりにぎわいを生み出す
- ☑️ 多文化共生**
外国人住民と共生し「世界につながる生野区」として、まちの活性化につなげる
- ☑️ 子育て・教育環境の整備**
子育て世代に選ばれるまちへ

誰もが「居場所」と「持ち場」のあるまちへ

「居場所」と「持ち場」のあるまちとは、区民一人ひとりが安心してつながりの中で暮らし、まちの活動の担い手としての役割を持っているまちです。
少子高齢化・外国人住民の急増といった課題を抱える最先端のまちとして、課題解決を進めると同時に、人口や地域活動の担い手が増える「持続可能なまちづくり」をめざしていく必要があります。

そのために、「異なったまま、和やかに、共に生きる」という「異和共生」※の考え方を基本理念として、公民地域連携による手法も取り入れながら、真のグローバルタウンとして、誰にとっても「遊んでも暮らしても働いても面白い」まちとなるように区政運営を進めていきます。
※「異和共生」(提唱者:関西沖縄文庫主宰 金城 馨氏)

異 **な**ったままで
和 **や**かに
共 **に**
生 **き**る という考え方

令和7年度 生野区の主な取組

安全・安心を身近に感じて暮らせるまち 予算 **1億893万円**



| | |
|--|---|
| 災害に備えて <ul style="list-style-type: none"> ■地域防災リーダー・ジュニア災害リーダーの育成 ■災害時避難所への必要備品の配備 ■空家等の相談、特定空家等の指導 | ひとりも取りこぼさない支援を <ul style="list-style-type: none"> ■真に支援が必要な方への確実な対応 ■「くらしの相談窓口いくの」 ■重大な児童虐待ゼロをめざした取組 ■学校と連携した「子どもサポートネット事業」 ■民間事業者等を活用した課外授業「いくの塾」 ■生きるチカラまなびサポート事業 |
| 犯罪・事故の防止に向けて <ul style="list-style-type: none"> ■青色防犯パトロール車の運用 ■防犯カメラの設置・維持管理 ■防犯標語・全域一斉パトロール ■事故の抑止・自転車交通マナー向上の啓発活動 | すべての人々の人権を互いに尊重し認めあえる環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ■地域人権講座・人権週間期間の啓発事業 ■人権啓発広報紙の発行、啓発物の配布・展示 ■生野区人権啓発推進員連絡会との連絡調整会議、人権啓発推進員研修の開催 ■やさしい日本語による情報発信の促進 ■食を通じた国際文化交流事業 ■外国人住民との共生社会実現に向けた支援事業 <NEW> ■AI音声認識ツールを活用した窓口サービス向上事業 (モデル事業) <NEW> |



にぎわいとiroどり 豊かな魅力のあるまち

予算 **2億1,002万円**

リノベーションまちづくり

- 行政と地域が一体となって万博機運を盛り上げ、地域の活性化を図る
- 生野ものづくりタウン事業の参加企業のフォローアップ・ネットワーク確立
- 既に活用を開始している学校跡地の改修工事

生野区シティプロモーション

- 各種広報ツールを活用した生野区の魅力情報発信
- インフルエンサーによる情報発信など、公民連携を活用した地域課題の解決や魅力発信の促進・強化

まちづくり協議会による自律的な地域運営の促進

まちづくりセンターと協力し、まちづくり協議会のめざすべき姿に向けた、実情に即したきめ細やかな支援

子育てにやさしく、教育につよいまち

予算 **1億3,835万円**

安心して子どもを生き育てることができる環境づくり

- 発達障がい児等への支援の拡充
- 子育て支援に従事する地域団体等との連携強化
- 切れ目のない相談体制の充実
- 妊婦のための支援給付事業 **<NEW>**



未来を生き抜く力の育成

- 民間事業者等を活用した課外授業「いくの塾」
- 生きるチカラまなびサポート事業
- 学校配置の適正化

予算 **5,281万円**



令和7年度 運営方針

くわしくは はこちら

「生野区グローバルタウン物語」プロジェクト本格始動！！

生野区は区民の5人に1人が外国人住民であり、都市部としては日本で最も外国人住民比率が高いまちで、住民の国籍数も約80か国というグローバルタウンです。
コロナ禍収束後、日本語が話せない児童や、家族の中で誰も日本語を話せないご家庭が急増している状況で、特に日本語が話せない子どもたちが進学や就職で不利にならないように、継続的な支援活動を行うことができる環境づくりや、学歴に関係なくどの国の人も仕事をすることができる環境づくりが大切であると考えています。

区の総売上げ額の8割以上が製造業と卸売り小売業が占める生野区においては、ものづくり企業と飲食店が繁盛して稼ぐことができ、まちがお金を生み出せる状態であることが重要です。加えて、コロナ禍や円安の影響による売上げ額減をカバーするには、インバウンドの誘致が有効と考えています。
グローバルタウンの先進都市として、どの国の人も安心して暮らすことができる共生のまちをめざし重点的に取り組んでいきます。



筋原区長

| | | |
|---|-----------------|-------------------------|
| 外国ルーツの児童の学習支援や生活相談を行う支援団体が活動を継続できる環境づくり | ものづくり企業と飲食店の活性化 | インバウンドも呼び込める常設の賑わい拠点づくり |
|---|-----------------|-------------------------|

生野区の取組には、みなさんの声を反映させていただいています！

区政会議

各地域からの推薦や公募の方など30名の委員の方が区民を代表して会議に参加し、生野区の運営方針や取組について意見や評価をいただいています。区内一斉防災訓練や高校生との区政に関する意見交換会など、区政会議から出た意見から実際の取組につながっています。

区政会議の運営状況については はこちら

区民アンケート

年に1度、無作為に選ばれた区民の方にアンケートにご協力いただき、区の取組や課題に関する認識や新たなニーズ把握の参考とさせていただきます。

過去のアンケート結果は はこちら